

# 東浦町からのお願い

## 男女共同参画に関するアンケートにご協力ください！

東浦町では、2022年3月に「第3次東浦町男女共同参画プラン」を策定しました。このプランに基づき、性別にかかわらず、誰もが個性と能力を発揮できるまちづくりに向けた取り組みを進めています。

この調査は、第3次東浦町男女共同参画プランに掲げた目標の達成状況の確認や、今後の取組の見直しにあたって、町民の皆さまのお考えをお聞きするために実施するものです。調査票は町内にお住まいの18歳以上の方から1,500人を無作為に選び、お送りしています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

2025年 10月 東浦町

### 回答にあたってのお願い

- あて名のご本人がお答えください。
- このアンケート調査は無記名回答方式ですので、名前を記入する必要はありません。また、調査結果は統計的に処理し、個人に関わる情報を公表することはありませんので、ご迷惑をおかけすることは決してありません。ありのままをご回答ください。
- 答えたくない質問については、とぼして回答してもかまいません。

この調査は、インターネットでご回答いただけます。

なお、郵送での回答を希望される場合は、調査票をお送りしますので下記問い合わせ先へご連絡をお願いいたします。

#### ① インターネットで回答の場合

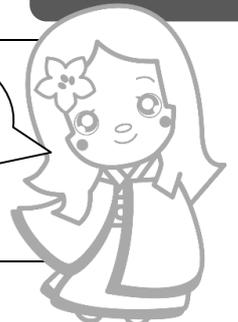


#### ② 郵送での回答を希望される場合



- 不明な点や調査についてのお問い合わせ  
東浦町役場地域創造部住民自治課  
TEL： 0562-83-3111  
FAX： 0562-84-6421  
E-mail： [juminjichi@town.aichi-higashiura.lg.jp](mailto:juminjichi@town.aichi-higashiura.lg.jp)

あなたの回答が  
未来のまちづくりに  
つながります！



## 「男女共同参画」の意識、家庭、地域活動について

問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。  
次の中から1つを選んでください。

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 1. 賛成である         | → 問2へ |
| 2. どちらかといえば賛成である | → 問2へ |
| 3. どちらかといえば反対である | → 問3へ |
| 4. 反対である         | → 問3へ |
| 5. わからない         |       |

問2 問1で「1.賛成である」「2.どちらかといえば賛成である」と答えた方にお聞きします。  
それは、なぜですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 日本の伝統的な家族のあり方だと思うから                |
| 2. 自分の両親も役割分担をしていたから                  |
| 3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから          |
| 4. 妻が家庭を守った方が、子どもの成長等にとってよいと思うから      |
| 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから |
| 6. 特にないが何となく                          |
| 7. その他（具体的に： _____ )                  |

問3 問1で「3.どちらかといえば反対である」「4.反対である」と答えた方にお聞きします。  
それは、なぜですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 男女平等に反すると思うから                      |
| 2. 自分の両親も外で働いていたから                    |
| 3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから          |
| 4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとってよいと思うから    |
| 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから |
| 6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから      |
| 7. 特にないが何となく                          |
| 8. その他（具体的に： _____ )                  |



問4 社会や生活の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。①～⑧の項目について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。

項目	男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている どちらかといえば	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている どちらかといえば	わからない
① 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
② 地域活動(自治会など)では	1	2	3	4	5	6
③ 習慣・しきたりでは	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育では	1	2	3	4	5	6
⑤ 職場では	1	2	3	4	5	6
⑥ 政治や行政では	1	2	3	4	5	6
⑦ 法律や制度では	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問5 あなたの家庭では、日常の家事の分担をどのようにしていますか。①～⑨の項目について、それぞれ1つ選んでください。

項目	自分が中心	配偶者やパートナーが中心	家族全員	その他の人	外部サービスを利用	わからない・該当しない(一人暮らしなど)
① 日常の家計管理	1	2	3	4	5	6
② 食事づくり	1	2	3	4	5	6
③ 食事のあとかたづけ	1	2	3	4	5	6
④ 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5	6
⑤ 洗濯	1	2	3	4	5	6
⑥ 掃除	1	2	3	4	5	6
⑦ ゴミだし	1	2	3	4	5	6
⑧ 子どものしつけや家庭教育	1	2	3	4	5	6
⑨ 家族の介護	1	2	3	4	5	6

問6 あなたは、生活の中で、「仕事」、「家庭生活(家事・子育て・介護等)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)」のうち何を優先しますか。「希望」「現実」それぞれについて、次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

項 目	①希望	②現実
1. 「仕事」を優先する		
2. 「家庭生活」を優先する		
3. 「地域・個人の生活」を優先する		
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先する		
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先する		
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先する		
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先する		
8. わからない		

問7 あなたは、次のような地域活動に参加していますか。また、今後参加したいと思う地域活動はありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

項 目	①現在	②今後
1. 自治会やコミュニティの活動		
2. 子ども会やPTA等の青少年育成活動		
3. 女性の会や地域女性団体（又は男性の会や地域男性団体）		
4. NPOやボランティア団体等民間の非営利活動団体		
5. 老人クラブや高齢者の会等の福祉団体		
6. 教養・趣味・スポーツのサークル		
7. 参加していない・参加したくない		
8. その他（具体的に )		

問8 あなたは、男性の家事、育児、介護、地域活動への参加をすすめるためには、どのようにしていけばよいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動への社会的評価を高めること
6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
7. テレワーク等のICTを利用した多様な働き方を普及し、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
8. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
10. 特に必要なことはない
11. その他（具体的に：  
)

## 仕事について

問9 一般に女性が職業を持つことについて、あなたはどうかお考えですか。次の中からあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい
5. 子どもができたなら仕事を辞め、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
6. その人による
7. わからない
8. その他（具体的に：  
)

問 10 一般に男性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。次の中からあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 男性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい
5. 子どもができたら仕事を辞め、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
6. その人による
7. わからない
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 11 育児や介護、家事などに女性の方がより多くの時間を費やしていることが、働く場における女性の活躍が進まない要因の一つだという意見がありますが、あなたはこの意見について、どう思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 12 あなたは、これまで（現在を含む）働き続けたいけれど、働くことができなかったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. はい → 問 13 へ
2. いいえ → 問 14 へ

問 13 問 12 で「1.はい」と回答した方にお聞きします。

働き続けたいけれど、働くことができなかった理由は何ですか。次の中から最もあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 就業や家事分担に対する配偶者やパートナー、家族の理解が得られなかったから
2. 育児に対する配偶者やパートナー、家族の理解が得られなかったから
3. 育児で預けられる施設（託児所や保育園）等のサービスが不十分だったから
4. 家族の介護や看護の必要があったから
5. 配偶者やパートナーが家事・育児・介護等を分担できないから（長時間労働、単身赴任等）
6. 就業していた会社に、育児・介護等をしながら仕事をする事への支援制度がなかったから
7. 結婚・妊娠・出産した人や介護を抱える人は、会社を辞めざるを得ない雰囲気だったから
8. 健康上の理由（病気・けがのため）
9. 会社の倒産やリストラ、定年
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問14 働き続けたい女性が離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。次の中から最も重要だと思うものを3つまで選んでください。

1. 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護支援サービスの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性の家事参加への理解・意識改革
5. 働き続けることへの女性自身の意識改革
6. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
7. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
8. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
9. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
10. わからない
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## 子どもの教育について

問15 あなたは、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という育て方についてどう思いますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 男の子、女の子と区別せず、同じように育てた方がよい
2. 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てた方がよい
3. どちらともいえない

問16 あなたは、子どもに対し、どのようなことを身につけてほしいと思えますか。

【男の子の場合】 【女の子の場合】について、それぞれあてはまるものについて3つまで選んでください。男女同じ番号を選んでもかまいません。

### 【①男の子の場合】

- |             |            |            |
|-------------|------------|------------|
| 1. 社会性・積極性  | 2. 決断力・行動力 | 3. 教養・知性   |
| 4. 優しい・思いやり | 5. 豊かな感性   | 6. 礼儀・道徳心  |
| 7. 自立心・独立心  | 8. 経済力     | 9. 明るさ・素直さ |
| 10. 国際感覚    | 11. 責任感    | 12. 学歴     |

### 【②女の子の場合】

- |             |            |            |
|-------------|------------|------------|
| 1. 社会性・積極性  | 2. 決断力・行動力 | 3. 教養・知性   |
| 4. 優しい・思いやり | 5. 豊かな感性   | 6. 礼儀・道徳心  |
| 7. 自立心・独立心  | 8. 経済力     | 9. 明るさ・素直さ |
| 10. 国際感覚    | 11. 責任感    | 12. 学歴     |

## DV（家庭内暴力）について

問 17 これまで結婚したことのある方(婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含む。)や交際相手がいる(いた)方にお聞きします。

あなたは、これまで配偶者や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。

①～④のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んでください。

項 目	な い ま っ た く	あ っ た 1、 2 度	あ っ た 何 度 も	無 回 答
① 身体的暴力（例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行）	1	2	3	4
② 心理的攻撃（例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの心理的嫌がらせ、あるいは自分もしくは自分の家族が危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫）	1	2	3	4
③ 経済的圧迫（例えば、生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど）	1	2	3	4
④ 性的強要（例えば、嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど）	1	2	3	4

問 18 問 17 で「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお聞きします。

あなたは、配偶者や交際相手から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 配偶者暴力相談センター（愛知県女性相談センターなど）に相談した
2. 市区役所、町役場に相談した
3. 警察に連絡・相談した
4. 民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、民間支援団体など）に相談した
5. 医療関係者（医師、看護師など）に相談した
6. 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）に相談した
7. 職場・アルバイトの関係者（上司、同僚、部下、取引先など）に相談した
8. 家族や親戚に相談した
9. 知人・友人に相談した
10. どこ（誰）にも相談しなかった
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 19 問 18 で「どこ(誰)にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。

相談しなかったのはなぜですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. どこ(誰)に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談するほどのことではないと思ったから
5. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
6. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 自分にも悪いところがあると思ったから
8. そのことについて思い出したくなかったから
9. 仕返しが怖かったから(もっとひどい暴力や性的な画像のばらまきなど)
10. 世間体が悪いと思ったから
11. 他人を巻き込みたくなかったから
12. 他人に知られると、これまでの付き合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから
13. 自分が受けている行為がDVとは認識していなかったから・愛情表現だと思ったから
14. その他(具体的に: )

### 男女共同参画について

問 20 男女共同参画社会を実現するために、行政は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から最もあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 法律・制度の面で見直しを行う
2. 行政などにおける政策決定の場に、女性を積極的に登用する
3. 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
4. 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底が図られるよう企業等に働きかける
5. 子育てや介護中の人であっても仕事が続けられるよう支援する
6. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
7. 保育の施設・保育サービス、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実する
8. 学校や生涯学習などの場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
9. 女性や男性の生き方に関する情報提供や相談などの場を充実する
10. 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
11. その他(具体的に: )

問21 あなたは、次の言葉を知っていますか。①～⑥の項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

項 目	てよく いる 知 っ	て少し いる 知 っ	と聞いた こ とは あ る	知らない
① 男女共同参画	1	2	3	4
② ポジティブ・アクション	1	2	3	4
③ ジェンダー	1	2	3	4
④ 女性活躍推進法	1	2	3	4
⑤ ワーク・ライフ・バランス	1	2	3	4
⑥ DV	1	2	3	4
⑦ LGBT	1	2	3	4

【用語の説明】

男女共同参画

男女が社会を構成する対等なパートナーとして、政治や仕事、家庭などあらゆる分野に参画し、喜びも責任もともに分かちあうことを言います。

ポジティブ・アクション

固定的な性別による男女の役割分担意識や過去の経緯から、男女の労働者の間に差が生じている場合、このような差を解消しようと、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取り組みをいいます。

ジェンダー

生物学的な性別ではなく、「女らしさ、男らしさ」など文化的、社会的につくられた性別をさします。

女性活躍推進法

女性活躍推進法により、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主（国や地方公共団体、民間企業等）に義務付けられました。

ワーク・ライフ・バランス

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域などにおいて、自らが希望するバランスのとれた生活を送ることを指します。

DV

ドメスティック・バイオレンスの略称。配偶者やパートナーなど親密な関係にある、またはあった人から振るわれる暴力のことをいいます。

LGBT

レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字をとった言葉で、セクシャル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつです。

## あなた自身のことについて

次の項目について、それぞれ1つを選んでください。

※回答を統計的に分析するためにお聞きします。

(1) あなたの性別は

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない・どちらでもない
-------	-------	-------------------

(2) あなたの年齢は

1. 18・19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	

(3) あなたの主なお仕事は

※出産休暇、育児休業中の方も働いているものとして回答してください。

自営業主	自営業の 家族従業者	雇用者	無職
1. 農林漁業	4. 農林漁業	7. 管理職	11. 主婦
2. 商工サービス業	5. 商工サービス業	8. 専門技術職	12. 学生
3. 自由業（作家等）	6. 自由業	9. 事務職	13. その他
		10. 労務職	



雇用者の方は、雇用形態もご記入ください。

1. 常勤（フルタイム）  
2. 非常勤（パート、アルバイト）

(4) あなたは結婚していますか。

1. 未婚	2. 既婚	3. 離婚・死別
-------	-------	----------

(5) (4)で「2. 既婚」と回答した方にお聞きします。

あなたの配偶者の雇用形態は

1. 自営業主	2. 自営業の家族従事者	3. 雇用者	4. 無職
---------	--------------	--------	-------



雇用者の方は、雇用形態もご記入ください。

1. 常勤（フルタイム）  
2. 非常勤（パート、アルバイト）

